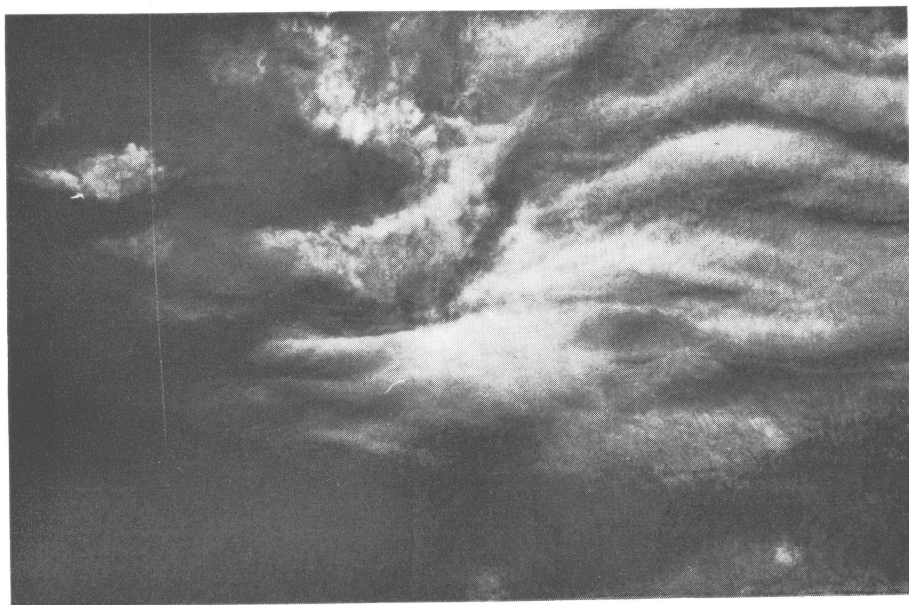


雲の分類の歴史

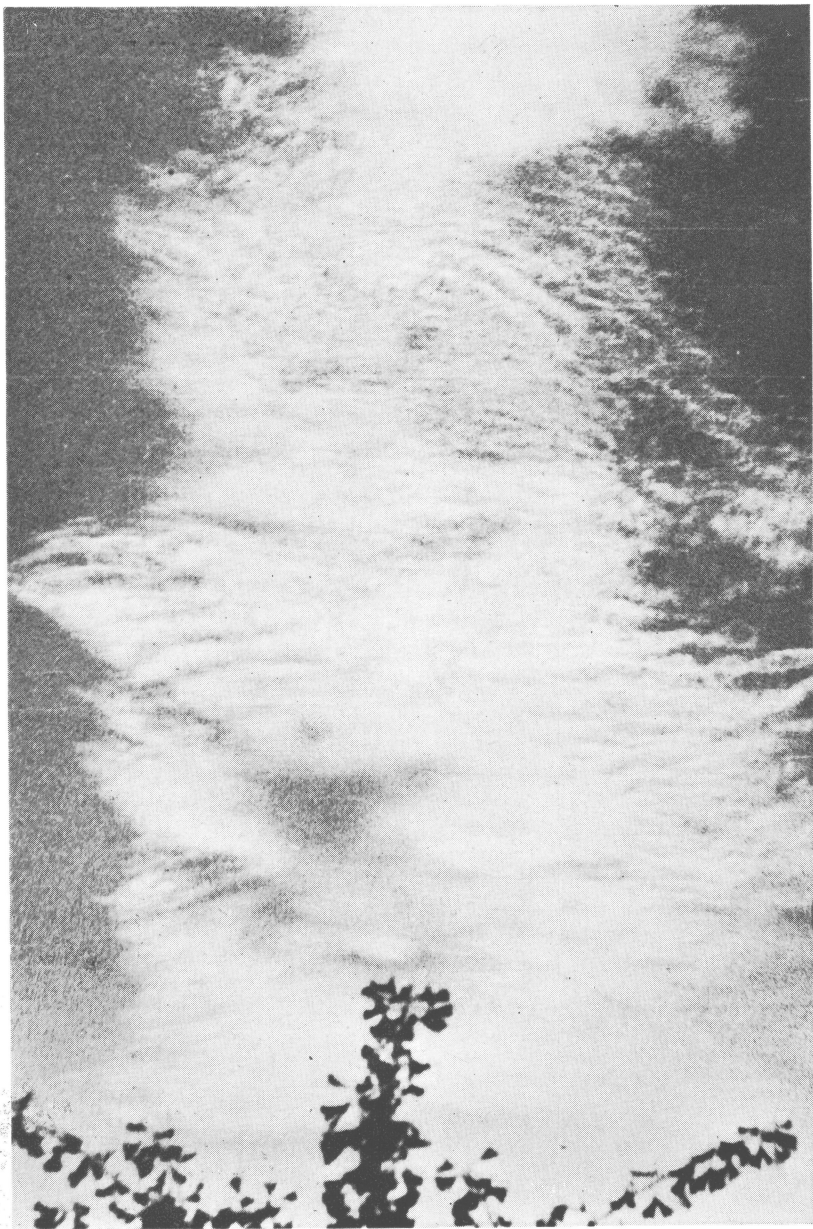
(本文参照)



層状の層積雲：1956年の雲図帳によれば *Stratocumulus stratiformis opacus* すなわち層積雲—層状—不透明と分類される。（筆者撮影）



波状の巻積雲：層状をなした巻雲積で *Cirrocumulus stratiformis undulatus* すなわち巻積雲—層状—波状と分類される（筆者撮影）



これも巻積雲だが写真の下半分はうすく消えつつあり、lacunosus（蜂の巣）の変種の特徴が見られ、上半分は大きな波状と小さな波状とがいりまじっている（筆者撮影）